

JR 在来線完全制覇の旅（第十回）

清水 勉

温泉、神社・仏閣、酒蔵、マイクロ鉄塔を巡る「旧国鉄在来線の旅」（四国 I 編）

四国における中央官庁出先機関の場所は、国土交通省が高松市、総務省が松山市に分かれています。これは、旧鉄道院と旧通信省の歴史と密接に関わっています。九州も国交省が福岡市、総務省が熊本市にあります。

さて、四国の鉄道建設の歴史は古く官設鉄道主導による建設はしていません。今回は、高松駅から松山駅、高知駅方面に向けての路線を書いてみます。

四国に初めて鉄道を開通させたのは愛媛県松山市の伊予鉄道で、1888年（明治



21年）に現在の松山市駅～三津駅間です。ついで1889年（明治22年）に金毘羅山参詣路線として讃岐鉄道が、丸亀駅～多度津駅～琴平駅間を開通させました。【JR 高松駅】

更に1897年（明治30年）高松駅まで延伸し現在のJR四国鉄道網の基礎を作りました。



1902年（明治35年）には食堂車を連結するなどを進めましたが、1904年（明治37年）山陽鉄道に買収、1906年（明治39年）には国有化されました。【アンパンマン特急列車】

志賀直哉の【暗夜行路】には多度津駅の様子が描かれています。



ここで本州～四国間の海渡りルートについても触れておきます。【高松港】

鉄道連絡船は、本州～北海道間の青函連絡船、本州～九州間の関門連絡船、そして本州～四国の宇高連絡船が活躍していましたが、いずれもトンネルや連絡橋が開通し廃止され唯一残っているのは、JR西日本系列の宮島連絡船だけです。

【高松城址】



宇高連絡船は、1903年（明治36年）山陽鉄道傘下の山陽汽船商社が岡山～高松間の航路を開設、1906年（明治39年）官設鉄道が買収、1910年（明治43年）岡山駅～宇野駅間に官設鉄道が開通し宇野～高松間の航路に変更しました。

そしてこの宇高連絡船も1988年（昭和63年）、本州の岡山県倉敷市と四国の



坂出市を結ぶ本州四国連絡橋：児島～坂出ルート of 鉄道路線完成により廃止になりました。【NTTcom：高松ビル】

讃岐の國（香川県）琴平市にある金毘羅山は、正式名は金刀比羅宮で全国にある金刀比羅神社、琴平神社、金毘羅神社の総本宮です。石段は、奥宮まで 1368 段、本宮まで 785 段あります。

登る時は必ず荷物を下の茶店に預けることが最良です。

私は、8月の時期に 7Kg のリュックを背負って登り難儀しました。



ご祭神は、大物主神（大国主神の和魂）、崇徳天皇で海上交通の神様です。参拝者は、近郊都市部はもとより全国津々浦々から船旅を経て多度津、丸亀、宇多津、坂出、高松の各港に上陸し金毘羅山へと向かいました。【NTT 西日本：高松三条ビル】

このため、参詣路線として 1922 年（大正 11 年）には琴平参宮電鉄が丸亀通町駅～善通寺赤門前駅間開通を皮切りに、1923 年（大正 12 年）琴参琴平駅に延伸、更に多度津西口駅、宇多津駅前、坂出駅前に延伸し全通しました。そして、琴平電鉄（現在の高松琴平電気鉄道：琴電）が 1926 年（大正 15 年）に栗林公園駅～滝宮駅間を開通させ、1927 年（昭和 2 年）に高松駅（現在の瓦町駅）～琴平駅（現在の琴電琴平駅）間が全通しました。



更に、琴平急行電鉄が 1930 年（昭和 5 年）に坂出駅～電鉄琴平駅間を全線開通させました。【dcm：高松ビル】



これにより、金毘羅山への参詣路線は、官設鉄道（現在の JR）、私鉄 3 路線と豪華 4 路線建てとなり全国的にも類を見ない鉄道網を形成しました。【JR 琴平駅（2016 年工事中）】

現在は道路網の発達により私鉄 2 路線が廃線になり JR と琴電の 2 路線が運行しています。

【金刀比羅宮】



さて現在の予讃線ですが、1906 年（明治 39 年）高松駅～多度津駅～琴平駅間を山陽鉄道から買収し国有化、1909 年（明治 42 年）国有鉄道路線名制定に伴い同区間を讃岐線に改称しました。

1913 年（大正 2 年）多度津駅～観音寺駅間延伸を皮切りに松山方面に工事を続け、1923 年（大正 12 年）壬生川駅までの延伸に合わせ路線名を讃予線に改称しました。



この区間には詫間駅があり、2009年（平成21年）まで存在した詫間電波工業高等専門学校が近隣にあります。現在は、高松高等専門学校と統合し香川高等専門学校になっています。

懐かしい方々が大勢いますね。【JR 詫間駅】



1924年（大正13年）今治駅、1927年（昭和2年）には松山駅まで延伸し1930年（昭和5年）には予讃線に改称、1935年（昭和10年）下灘駅まで延伸しました。【JR 今治駅】

今治駅前からバスで本四架橋の一つである尾道～今治ルートで、大三島にある大山祇神社に行くことができます。

大三島は言わずと知れた村上水軍の拠点で、芸予諸島に一大勢力を築き瀬戸内の海域を制した海賊衆です。

水軍は真言宗徒で京都に菩提寺が残されているそうです。

神社のご祭神である大山祇神は、海の神、山の神、戦いの神で京都市：梅宮大社、三島市：三嶋大社、伊勢原市：大山阿夫利神社等の総本社です。【NTT 西日本：今治ビル】



奉納されている甲冑は国宝、重要文化財指定であり全国の40%が納められています。一度はご覧いただきたいと思います。【大山祇神社】

1918年（大正7年）愛媛鉄道が長浜駅（現在の伊予長浜駅）～大洲駅（現在の伊予大洲駅）間を軌間762mmで開通、1920年（大正9年）大洲駅～内子駅まで延伸させました。

1933年（昭和8年）愛媛鉄道を国有化し軌間1,067mmに改修、下灘駅～伊予長浜駅間まで延伸し予讃線と接続を行い予讃線に編入、1939年（昭和14年）八幡浜駅まで延伸になりました。

【JR 松山駅】



1914年（大正3年）宇和島鉄道が宇和島駅～近永駅を開通させ現在の予土線がスタートしました。【道後温泉】

1933年（昭和8年）宇和島鉄道を国有化し宇和島線と呼称、1941年（昭和16年）北宇和島駅





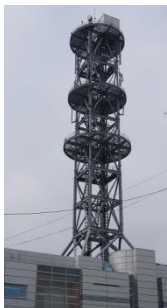
から分岐し卯之町駅まで延伸、そして 1945 年（昭和 20 年）に卯之町駅～八幡浜駅間が延伸になり予讃線へ接続編入し高松駅～宇和島駅間が全通しました。実に 1889 年（明治 22 年）讃岐鉄道開通から 57 年間の歳月を要しました。

【NTTcom：松山ビル】

また内子線ですが、1935 年（昭和 10 年）予讃線編入に伴い五郎丸駅分岐となり盲腸線になりましたが、1986 年（昭和 61 年）向原駅～内子駅間の新規開通、伊予大洲駅～内子駅間の一部路線切替、路盤改修工事を行い特急列車の運行を可能としバイパス路線が完成しました。**【NTT 西日本：松山山越ビル】**



松山駅から高知駅方面には、宇和島駅（予土線）を bypass しない松山駅～佐川駅（土讃線）間直通路線も計画されていました。ルートは、現在の国道 33 号線に相当するようですが工事に着手することはありませんでした。**【dcm：松山ビル】**



宇和島鉄道が開通させた予土線ですが、1923 年（大正 12 年）近永駅～吉野駅（現在の吉野生駅）に延伸、その後国有化、軌間の改修を経て 1953 年（昭和 28 年）吉野生駅～江川崎駅間に延伸しましたが、県境・山間部・急こう配などから時速 65Km に制限されています。**【左下：JR 宇和島駅】**

江川崎地区は、2013 年（平成 25 年）アメダスで最高気温 41.0 度を記録し有名になりました。標高 72m で四万十川と広見川の合流地点に位置しています。



1974 年（昭和 49 年）江川崎駅～川奥信号所（中村線ループ区間）まで延伸になり、北宇和島駅～若井駅間が予土線として全通しました。

この路線も宇和島鉄道開業から実に 60 年後に完成しました。**【ホビートレイン】**



実際の営業区間は、若井駅ではなく第三セクター化された土佐くろしお鉄道中村線の路線を走り隣接の窪川駅発着になっています。

前述のとおり県境・山間部区間であるため地元の乗降人数は少なく、海洋堂ホビートレイン、新幹線 0 系に似せた鉄道ホビートレインを運行し鉄道マニア、子供向けとして集客率アップに取り組んでいます。

また青春 18 切符での乗車時は、若井駅～窪川駅間を土佐くろしお鉄道が保有



しているため、同区間の切符購入が必要です。

土佐くろしお鉄道中村線は 1988 年（昭和 63 年）JR 四国より移管され、その後開通した宿毛線と一体運営を行っています。

また、岡山駅から宿毛駅まで特急電車が直接乗り入れています。【土佐くろしお鉄道：中村駅】



中村線は、1963 年（昭和 38 年）窪川駅～土佐佐賀駅間が開通し 1970 年（昭和 45 年）に中村駅まで延伸しました。

駅の自治体名ですが、平成の大合併で窪川駅は四万十町、中村駅は四万十市となっていて奇妙な感じがします。道路標識も同様だそうです。【左上：NTT 西日本：中村ビル、左：宿毛駅】



宿毛線の歴史は古く 1922 年（大正 11 年）に宇和島駅～中村駅間として計画されていますが、実際の調査開始は 1956 年（昭和 31 年）からで工事着手は 1974 年（昭和 49 年）中村駅～宿毛駅間でした。

しかし国鉄再建法に伴い 1981 年（昭和 56 年）に工事中断、土佐くろしお鉄道設立により 1987 年（昭和 62 年）に工事再開になり 1997 年（平成 9 年）にようやく中村駅～宿毛駅間が開通しました。残りの宿毛駅～宇和島駅間は未成線になりました。【土佐くろしお鉄道：宿毛駅構内】



予讃線の窪川駅～宇和島駅間の乗降人数を考えると、仮に宿毛駅～宇和島駅間が開通していてもどちらかの区間が廃線になっていたと思われます。全国の間山部県境路線（普通列車区間）に乗車すると実情が良くわかります。



土讃線は、予讃線の多度津駅から琴平駅、阿波池田駅、後免駅、高知駅を經由し窪川駅までの区間です。【左上：丸亀駅、左下：丸亀城】



前述の通り 1889 年（明治 22 年）丸亀駅～多度津駅～琴平駅まで開通後、山陽鉄道の買収を経て国有化されました。

丸亀駅から市街地南部方向に亀山があります。ここに丸亀城が作られていて亀山城、蓬萊城と



も呼ばれているそうです。城跡全体は国の史跡に指定されていて亀山公園になっています。孫を連れた老夫婦が登っていましたが、坂は意外にきつく手を引かれていました。

【NTT西日本：丸亀ビル】

丸亀市は、香川県では高松市に次ぐ二番目の都市で中心に丸亀城があります。また丸亀うちわの伝統産業が有名で生産量は何と全国の9割を占めています。これは金刀比羅宮参拝の玄関口でもあり、参拝者の金毘羅参りの手土産として生産が盛んになりました。



【善通寺東院（伽藍）：五重塔】

多度津駅を過ぎると善通寺駅に到着します。ここは駅名のとおり四国八十八箇所霊場第七十五番の札所である善通寺があります。

和歌山県の高野山、京都市の東寺と共に弘法大師三大霊場に数え



られています。【善通寺西院（誕生院）：御影堂】

本尊は薬師如来で平安時代初頭の807年に真言宗開祖空海の父である佐伯善通を開基として創建されました。境内は広大で東院が伽藍、西院が空海誕生地の誕生院になっています。



四国八十八箇所のお寺を巡るお遍路は、四国巡礼または四国遍路とも呼ばれています。一番から順に札所を巡るのを順打ち、逆に巡るのを逆打ちと呼ぶそうで最後に高野山にお参りすることです。歩き遍路、車遍路、ツアーバス遍路、自転車・バイク遍路もあり多種多様です。



【左上：大歩危、左下：JR・くろしお：後免駅】

1914年（大正3年）徳島線の延伸として川田駅～阿波池田駅間が開通、これに1929年（昭和4年）阿波池田駅の一つ手前である佃駅に琴平駅から延伸した土讃線を接続、1931年（昭和6年）三縄駅まで延伸しました。



【土佐くろしお線ホーム：ごめんえきお君】

1924年（大正13年）須崎駅～高知駅間が高知線として開通、後免駅、土佐山田駅、大歩危駅、小歩危駅へと延伸を進め、1935年（昭和10年）三縄駅に接続し多度津駅～須崎駅間を土讃線に



改称しました。【JR 高知駅】

この区間には天然記念物の杉の大杉、吉野川のかずら橋、大歩危小歩危の V 字溪谷があり阿波池田駅～大杉駅間は四季の車窓が楽しめる区間です。また、アンパンマン作者のやなせたかしさんキャラのごめんえきお君がある後免駅、スイッチバック駅として新改駅、坪尻駅があります。【高知城：冷たいおしぼりが感動的でした】



1939 年（昭和 14 年）須崎駅～土佐久礼駅間が延伸、窪川駅接続に向けて工事を進め 1951 年（昭和 26 年）多度津駅～窪川駅間がようやく全通し



ましたが、完成までには 62 年の歳月を要しました。

高知市内には、はりまや橋、高知城等がありますが、地元の方々の台所であるひろめ市場では市場内で買い物し、それを肴に一杯飲むことができます。【NTTcom：高知ビル（2013 年塗装中）】

私も買い物に来ていた高齢者、広島県備後庄原市から旅行に来られたご家族と意気投合しお酒が相当進んだことを記憶しています。藁で炙ったカツオのたたきが新鮮でした。【dcm：高知ビル】



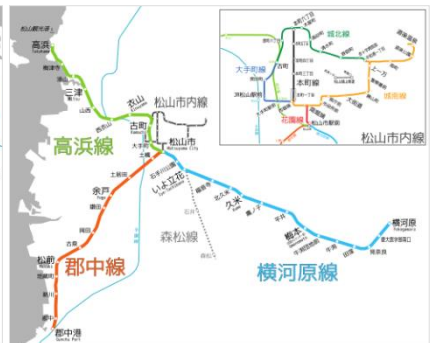
坂本龍馬生誕の地、坂本龍馬記念館、バスを利用し一步郊外に出ると桂浜、土佐國一之宮の土佐神社などがあります。

四国主要都市を結ぶ路線の完成には実に 60 年ほどを要し、戦後に全通しているのは全国的に見ても四国のみです。

今回は、高松駅から徳島、牟礼方面、高知の後免駅から奈半利、室戸岬方面を紹介したいと思います。（出典：ウィキペディア）



【金毘羅宮参詣路線】



【伊予鉄道】